



No.16

柏市政や柏市の出来事についてご報告します。

ボランティア募集!

# 山下洋輔新聞

柏市議

無所属

37歳

山下洋輔は、クリーンな政治を目指しています。皆様のお力が必要です。この新聞を配布して下さる方を募集しています。散歩がてら、ご近所だけなど、何枚でもかまいません。地域をよりよくするため、一緒に活動しましょう。

2015年7月7日

市議会議員は、どんな活動をしているか。どのような考えで、活動しているか。報告していきます。

## ○ 柏の可能性 – グリーンシティというスタイル



柏は都内まで、電車で30分圏内に位置する一方で、手賀沼や利根川をはじめとする豊かな自然環境を楽しむことができます。

柏駅前には個性的な飲食店が集まり、農業も盛んです。アメリカで住みたい街 No.1のポートランドのような魅力が、柏にはあります。一地方都市にすぎない柏ですが、都内の都市には真似できない強みを引き出していきます。

地産地消のレストラン、ファーマーズ・マーケット、パン屋、おいしいワインやお酒、こだわりのカフェ、信頼できる食料品のあるスーパーやお店、大量生産よりもハンドメイド、競争よりも共生など、環

境への意識が高いまちが、人を惹き付けます。

農家レストラン、柏の強みを活かした「食育」事業、体験農園、高齢者の経験や農村の暮らしを伝える場にもなる農家民泊を議会から提案してきました。オリンピック前に、エコツーリズムの観光政策も打ち出すべきです。

写真 新鮮な野菜、お菓子、工芸品など、大量生産ではなく、こだわりの品がならぶ柏神社の「手づくりの市」

## ○ 子ども食堂 – 地域で支える子どもの居場所

貧困の連鎖、教育格差が広がっています。6人に1人の子どもが、生活保護を受けている、もしくは、ワーキングプアの家庭で育っています。地域の子どもを、地域が見守り、学びや暮らしを支えるネットワークを作っていかなければなりません。

今、心と体の成長の土台である「食」が揺らいでいます。出来合いの弁当や菓子パンだけで毎日の食事を済ませます。家計が苦しく食事を抜く。様々な生きづらさを抱えた子どもたちを、手作りの温か

い食事で支えたい。共に食べる喜びを味わってほしい。そんな「子ども食堂」の試みが各地に広がり始めています。

議会でも「子ども食堂」を提案しました。行政だけでなく、企業や市民団体、飲食店や生産者、塾や学童保育などと力を合わせて「子ども食堂」の実現に向けて、私も取り組んでいこうと思います。子どもの居場所を整えていくことも、私たち大人の役割であり、社会の責任だと考えます。

### 山下洋輔のプロフィール

1978年4月生まれ。37歳。

東葛飾高校卒業。早稲田大学教育学部卒。同大学院修士課程修了後、土浦日大高校にて教諭。早稲田大学大学院教育学研究科博士課程を単位取得後退学。

「柏まちなかカレッジ」学長として市民大学を主宰し、地域の教育・文化を盛り上げている。

【趣味・特技】歴史散策、剣道（三段）、絵画、カポエイラ、三線、バイク、JAZZ鑑賞

【家族】妻、長男（2014年生まれ）

※タイトルのイラストは、『ひとりごはんの背中』（講談社）で著者の能町みね子さんの取材を受け、描いて頂いたものを使用しています。

柏まちづくり倶楽部開催（毎月最終木曜日 19時～）

参加ご希望の方は、ご連絡ください。連絡先は裏面に記載しています。

# ○ 山下洋輔、6月議会での質問。

山下の質問

柏市の答弁

まちづくり	<b>山下の視点</b> 歩行者優先やバリアフリーは世界の潮流。商業活性、医療費削減、環境、文化など多岐にわたる効果あり。	
	柏駅前の歩行者優先とバリアフリーのまちづくりの推進する職員体制の充実を。	駅前の商業者・地権者など、関係者としっかり話し合っ進めていく。
	<b>山下の視点</b> 子どもや女性が安心して歩ける街にすることこそ、柏のイメージアップです。	
	柏駅前の客引きやスカウト、チラシ配りへの取り締まり強化を。	警察・官民一体でパトロールし、迷惑行為撲滅に努める。
子育て	<b>山下の視点</b> 柏駅と手賀沼を結ぶ自転車道ができれば、柏の魅力は引き出されます。	
	自転車マナー啓発だけでなく、自転車が安全に走行できる環境整備、特に、柏駅前から手賀沼までを結ぶ自転車道の整備を。	旧水戸街道の葉山の交差点まではモデル路線として整備し、その先は今後検討していきたい。
	<b>山下の視点</b> 子ども貧困や格差、子どもの安全は重要課題です。	
	「子ども110番の家」と子どもの接点を増やす取り組みを。	日常から体制を整えたい。
行政	居場所作りや貧困対策として、「子ども食堂」を推進しては。	実態を調査し、検討する。
	<b>山下の視点</b> 地域のニーズに合わせた子育て支援が必要。一時保育も要望。	
	小規模保育園への見解は。	こども園と私立認可保育園を優先し、小規模保育園は補完的に整備。
	<b>山下の視点</b> これまでフューチャーセンターやSNSなど、より市民の声を反映した計画策定の具体案を提案してきました。	
文化	市民意識調査結果は市政にどのように活かされているか。	活かされていることが可視化できるよう努めたい。
	<b>山下の視点</b> 戦後70年、軍都でもあった柏の歴史も風化させてはならない。	
	戦争遺跡の保存や戦争体験の聴き取りを。	未来への責任と考え、取り組んでいきたい。
	<b>山下の視点</b> 子宮がん検診の移行は、これからの柏市のがん対策を考えるためのチャンスです。	
医療・福祉	新しい子宮がん検診と啓発活動への評価は。	検査精度が高まった。若い世代への啓発を強化する。
	<b>山下の視点</b> 核家族化し、独居高齢者が増え、家族ではなく自治体が後見人となる事例が増えています。	
	増加が予想される成年後見人制度への体制と対応策は。	市民後見人も養成する。
	<b>山下の視点</b> 翌年2月に事業が開始されるが、しっかりとした柏市のビジョンが必要になります。	
防災	介護予防・日常生活支援総合事業について柏市の方針は。	支え合う地域を整備する。
	<b>山下の視点</b> 同時期に建設され、同時期に老朽化を迎える住宅街について、防災と市民の安全を守る観点から、行政の役割を問い質した。	
	老朽化した家屋や住宅地への対応は。	耐震改修費の助成を行う。

## ○ 自転車まちづくり政策 - 柏駅～手賀沼の自転車道を



自転車は、健康的で、環境負荷も低い移動手段で、本来、推奨されるべきものです。改正道路交通法の施行にともない、マナー違反の取り締まりや規制についての報道や議論が中心となっていますが、駐輪場や自転車道など、自転車を安全に乗ることができる環境整備にも力を入れて頂きたいと思ひます。

柏市東口から手賀沼までの自転車道の整備を議会で提案しました。柏駅から、自転車ですぐの距離に手賀沼があることは、柏市の魅力です。手賀沼や利根川には、走りやすい道があります。自転車道などを設置して、これらの道をネットワーク化することは、非常に意味があると思ひます。

### 山下から一言

柏の松ヶ崎出身で、幕末に儒学者として教育や行政で力を発揮した「芳野金陵」先生の史料の調査に関わりました。巻石堂病院のご先祖様でもあります。秋に柏市郷土資料室で企画展が開かれます。地域、そして日本の共有の財産である歴史・文化を、次世代に継承するためにも、史料の収集や保存に取り組むよう働きかけています。公立の資料館や図書館、博物館の役割であると思ひます。

**連絡先** TEL:04-7170-0668 FAX:03-6745-9416(※eFaxを使用) Mail: info@y-yamasita.com

以下、山下の活動や考えたことを報告しています。山下の日常の記録です。ご感想やご意見もお寄せ下さい。

[twitter] @yosukeyama [facebook] http://facebook.com/yosukeyama [HP] http://y-yamasita.com